

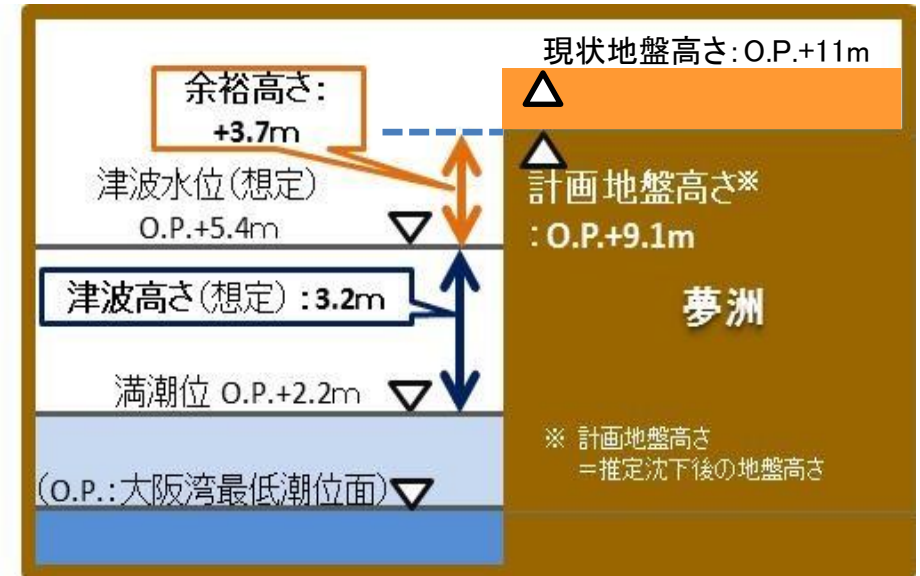
夢洲における防災の取組みについて

資料4

臨海部ではすでに「大阪市地域防災計画」において想定される地震、津波などの災害へのハード対策に取組み、安全性を確保

夢洲の地盤

- ✓ 地盤沈下を見込んだ50年後でも、O.P.+9.1mと想定しており、満潮時の津波予測高さO.P.+5.4mや高潮予測高さO.P.+5.2mに対しても3m以上の余裕を確保
- ✓ 粘性土を主成分とする浚渫土砂等で埋立されており、液状化しにくい地盤



ハード対策

- 大阪港においては、災害時の緊急交通路及び避難路に架かる橋梁等(夢舞大橋、夢咲トンネル)について、大規模地震による影響に対しての安全性の検証を行い、耐震性を確保
- 災害時においても継続的なエネルギー供給が行われるインフラ整備

ソフト対策

- 来訪者が安心して滞在できるよう、IR事業者による安全確保やエネルギー自立対策などを考慮したBCP(事業継続計画)の策定
- 大阪観光局等と連携したインバウンドへの情報提供、24時間体制の相談窓口の設置など